

品川区再犯防止推進計画に対するご意見の要旨と区の考え方

- ・実施期間 令和5年10月1日(日)～令和5年10月31日(火)
- ・提出意見件数 : 10件
- ・意見提出者数 : 5名

No	ご意見(要旨)	区の考え方
計画全体について		
1	現状や課題の記載が多く「今後 5 年間の計画」と呼べるのか疑問に思う。計画を策定したことにより目指す理想の姿や、取組の成果が測れる数値目標の記載があると良い。	区では、犯罪や非行をした人たちの立ち直りを支える事業を様々な所管で実施しており、今回の計画では、それらの事業を体系化・見える化することに注力しました。次回計画の見直しにおいては、いただいたご意見を参考に、それぞれの所管が連携し、各事業の目指す姿や目標設定について検討してまいります。
第1章 計画の基本的な考え方 について		
2	p1 の 1 の 12 行目「…犯罪をした人たちに関わらず」が、「…犯罪をした人たちと関わりを持たず」という意味に聞こえるので、「…犯罪をした人たちに対してのみならず」などの文言の方が読み違えないかと思う。	ご意見を踏まえ、以下のとおり修正させていただきます。 P1.12 行目 第1章 1.策定の背景・意義 品川区においては、犯罪をした人たちだけではなく、広く区民を対象とした様々な支援を提供しています。

3	<p>1 ページ目、第 1 章計画の基本的な考え方、1. 策定の背景・意義の 12 行目第 4 パラグラフ内の「品川区においては犯罪をした人たちに関わらず、すでに…」は、主語述語を明確にし、内容を具体的にするために、「品川区は、犯罪をした人たちだけではなく、広く区民を対象とした支援を、様々に区民に提供しています。」としたほうが、より差別的にならないのではないか。</p>	<p>ご意見を踏まえ、以下のとおり修正させていただきます。 P1.12 行目 第1章 1.策定の背景・意義 品川区においては、犯罪をした人たちだけではなく、広く区民を対象とした様々な支援を提供しています。</p>
4	<p>1 ページ目、第 1 章 計画の基本的な考え方、1. 策定の背景・意義について、何を背景にどのような意義があるのか、あまり明確に記されていないように感じる。 国による法令制定と東京都による計画の策定の事実があることはわかるので、これが背景なのだろうとは忖度できるが、次の文章の初めに「上記の法令制定や都の取組を背景に、」という 1 句を入れることで、大幅にニュアンスが明確になると思う。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
<p>第 2 章 品川区における再犯防止を取り巻く状況 について</p>		
5	<p>3 ページ目 第2章 品川区における再犯防止を取り巻く状況 1. 再犯者等に関わる状況 (2)刑法犯検挙者中の再犯者数・再犯者率の推移の説明文中、「初犯者数の約半数となっており、」ではなく、「刑法犯検挙者数」なのではないか。この文章では、初犯数の半数が再犯者数という意味に取れてしまう。</p>	<p>ご指摘のとおりです。 P.3 (2)文中 「初犯者数の約半数」を「刑法犯検挙者数の約半数」に修正いたします。</p>

その他		
6	<p>法務省発表の数値によると、再犯率、再入所率は他国と比較して、著しく高いものとは言えないが、犯罪を犯した者の半数近く、特に受刑にまで至った者の6割近くが再度犯罪に手を染める事は現行法の機能不全と個人的には思う。</p> <p>これらをテーマとする際に、しばしば「人権」が語られるが、多々被害者の「人権」が軽視されているように思える。犯罪を犯した者がペナルティを受けるのは当然であり、法を順守し真面目に一生懸命に生きている者と同じくすることが本当に正しいのか疑問に感じている。</p> <p>犯罪が発生する背景に、犯罪とその罰のバランスが適正でない場合が一定数あると思われる。犯罪を犯すと割に合わないと思わせるように、そして真面目に生きている者が安心して暮らせるように、犯罪者には厳しい罰を刑務所内、外を問わず与えるべきだと思う。</p> <p>少なくとも、犯罪者の待遇改善のために税金を投入するといった考えは、その被害者の方々への冒涇につながると考える。</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>また、品川区では、犯罪被害者支援として、犯罪被害に遭われた方やその家族の方などの支援に関する情報提供や助言を区民相談室にて行っております。</p>
7	<p>検挙数が少なく、犯罪が見過ごされているのではないかと、人手不足なのではと疑問に思った。毎年犯罪をおこす人が新たに生まれてしまうこと、再犯を止められた人がいるということが発見になった。</p> <p>知能犯が少なく窃盗や暴力が多いので、学力や学びの場に関われる事の大切さが伝わった。児童学生に防犯道徳倫理を教えるのがボランティアや学校教員の労働環境が悪い</p>	<p>ご意見として承ります。</p> <p>いじめについては、品川区では、品川区立教育総合支援センターに教育・福祉・心理・元警察官のスタッフで構成する専門家チーム「HEARTS(品川学校支援チーム)」を設置し、いじめをはじめ、不登校や非行等に関することの相談受付を行っています。ご指摘の件に</p>

<p>人頼りになっていることが、今後の犯罪率を上げることになると感じた。</p> <p>学校でのイジメ問題も現在はイジメられる方が学校を休みイジメる側は平穏で社会に出て暴力を更にふるって勢力を伸ばして悪事をはたらいていたりするので、海外のようにイジメる側がメンタルサポート受ける方向になって欲しい。</p> <p>PTA で子ども 110 番の登録状況確認をしたことがあるが、大昔に祖父が登録したままであることを家族が知らなかったりなど、安全の担保がされていない状況で登録されている。実際に登録した場所に子供が飛び込むことは少なく登録されていない店舗や歩行者に保護されることが多い。半分は抹消したほうがいいと感じた。わんわんパトロールは地道に効果があるが、保険関係が個人情報や共働きによる PTA 崩壊で難しくなっている。ちゃんとお給与を出して頼むパトロールや学校警備員などを増やしてほしい。高齢者でも警備員は多いので働く先が増えて高齢者の窃盗が減るといいと思った。</p> <p>若者の暴力は不満を取り除けるようにしてあげたい。小中学生まではイベントが多くて大人の見守りも多いし、働き始めて子育てし始めてもサポートが増えてきた。しかし、高校生から成人直後の子供たちは居場所や活躍の場がない。年下や大人とも関わらず宙ぶらりんな状況で渋谷や新宿で東横キッズやパパ活や闇バイトに真面目に勤しんでいる。こころへんは政治の力で減らせそうな気持ちがある。</p>	<p>についてはご意見として承り、引き続き支援に取り組んでまいります。</p> <p>子ども110ばんの家やわんわんパトロールは共助の観点から、PTA や地区委員、町会、事業所等の協力を得ながら、地域全体で見守り活動を展開しています。ご指摘の件につきましては、本取り組みがより実効性のあるものとなるよう努めてまいります。</p> <p>子ども・若者については、大人(地域)との信頼関係の構築や継続的で安定的な場の確保が重要であり、自由で多様な遊び・体験・交流、関係づくりと場の整備に努めてまいります。</p>
--	--

8	<p>どんな軽微なものであっても性犯罪歴のある者はGPSで管理し、居住地域区民に対して周知し監視することが必要不可欠。</p> <p>どんな理由であっても不法就労、不法滞在をしている時点で犯罪者であり、日本の国益、品川区の利益にはなり得ないため不法外国人を発見次第通報するための連絡先を大きく広報、区民への通報の呼びかけが必要。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>
9	<p>再犯防止計画とは趣を異にするが、犯罪被害者支援は、どのような取り組みを行っているのか。</p>	<p>品川区では、犯罪被害者支援として、犯罪被害に遭われた方やその家族の方などの支援に関する情報提供や助言を区民相談室にて行っております。また、(公社)被害者支援都民センター・警視庁被害者支援室・区内4警察署(品川・大崎・大井・荏原)の合同による犯罪被害者支援キャンペーンを区役所にて行い、被害者遺族のメッセージの紹介とともに、リーフレットや啓発グッズを配布して相談先などを紹介しています。</p>
10	<p>犯罪をした者の更生を促していく上で、犯罪被害に遭われた方たちへの償いの機会を提供していくことも必要なのではないかと。刑期を終え、地域社会の一員として立ち戻っていく過程で、償いの機会を奪ってしまえば、過去の不幸な事件は、なかったことにされてしまう。</p> <p>刑期を終えることは、決して、過去の出来事をおろそかにするわけではないので、過去の事実と向き合う機会と、不幸な事実を踏まえた社会の在り方を、共に創っていくような取り組みこそ、再犯防止に不可欠なのではないかと思う。</p>	<p>ご意見として承ります。</p>